

春日井市職員さん「さぼがーる」

真ん中は堀部研の卒業生です（4期生）

サボテンPRへ「さぼがーる」



春日井市新人職員 3人が活動

春日井市の新人女子職員3人が市の特産品サボテンをPRするためのチーム「さぼがーる」を結成、そのいのロゴ入りポロ

シャツを着て活動を始めた。結成したのは今春入庁した経済振興課加茂愛海さん(28)、市民安全課総務さん(28)、介護・高齢福祉課中村真子さん(28)。今後、サボテン振興に向けた市内プロジェクトの一躍を担い、サボテンの新たな魅力を

発掘し、市のホームページなどで紹介していく。

七月三日、同市西尾町の暑い農パーク春日井で新作サボテン料理のサボテンカレーやサボテンくんじざなどを試食し、サボテンの味について理解を深めた。第一弾は実際にサボテン料理を三人で作って食べた体験談を近くホームページに掲載する予定。さらにサボテン化粧品にも挑み、活用方法などを公開し、PRするとのこと。

さぼがーる結成とともに市観光コンベンション協会は春日井サボテンのロゴ入りのポロシャツ(緑、水色など四色)二百着を製作。市でも啓発イベントなどで活用するとのこと。

さぼがーるの加茂さんは「サボテンの魅力は観賞、食用だけでなく、ほかにもあるはず。これから知られていない魅力を発掘し、市民に知らせていきたい」と抱負を話している。

(田内建一)

●おそろいのポロシャツでサボテンを手にするさぼがーる(左から中村さん、加茂さん、懸さん) ●春日井市鳥居松町5の文化フォーラム春日井で ●暑い農パーク春日井での試食体験を報告する記事 ●春日井市のホームページから

地域のシンボルだというJR勝川駅の前に立つ店主の丹羽さん。春日井市松新町で

店 同市勝川町五 (0120) 3227380 (磯嶋康平)



「サボテンまめちしき」のポスターを紹介する市職員。春日井市役所で

よま 事件帖

5月上旬、そろそろ日付も変わるうかという時間帯。豊田市

せ



い、それに装置が反応したらしい。「コロナ禍で自粛が続ぎ、魚も外の世界に出掛けたかったのかな」と署幹部。警察が出動する騒ぎとなり、当のコロナ禍で

自由研究題材にサボテンいかが

春日井市は特産のサボテンについて市民に知識を深めてもらおうと、市内の各所に「サボテンまめちしき」と題したポスターを掲示している。九月末まで。

ポスターは十八種類あり、「春日井はなぜ「サボテンのまち」?」「サボテンを使った給食を導入!」「サボテンの植え替えのしかた」といったタイトルで



春日井市 小松梅子

豆知識を紹介。主な品種についても取り上げた。市内の公共施設や各駅など計十八カ所に、それぞれ一種類ずつ張り出した。

郵政創業百五十周年感謝企画ともコラボし、市内全ての郵便局にもポスターを掲示した。市経済振興課の担当者は「夏休み中の自由研究にも活用してもらえれば」と話している。

(小林大晃)